

都市構造可視化計画サイトの活用と普及

京都府 建設交通部
都市計画課

1. はじめに

- ・ 現在、令和5年度の定期見直しに向け、都市計画基礎調査を実施
- ・ 税金で構築したデータは国民の財産→今後データ公開、共有が進む
- ・ 人口減少、新名神高速道路開通→都市の構造が変化

都市モニタリングシート

基礎調査GISデータ

都市構造可視化

補注：都市構造可視化計画。地図は©2019 ZENRIN, Data Japan Hydrographic Association, Google Earthを使用

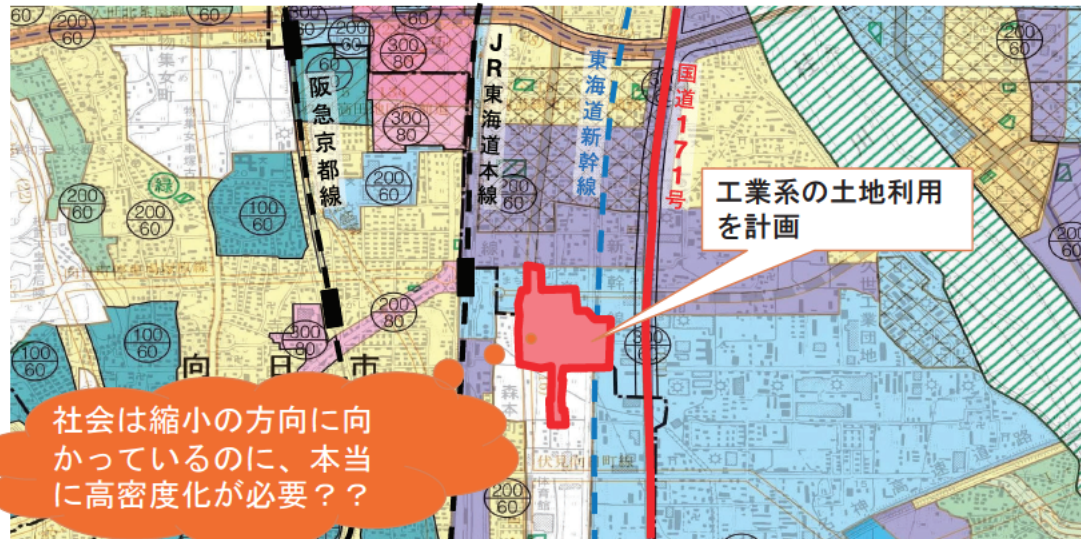
1970年夜間人口 2005年夜間人口

変化していく都市の構造を分析するには
多様なデータや手法を有効に活用していくことが必要！

2. 事例の紹介 (活用)

～都市計画変更案の検討～

★都市計画審議会において指定容積率の緩和を検討



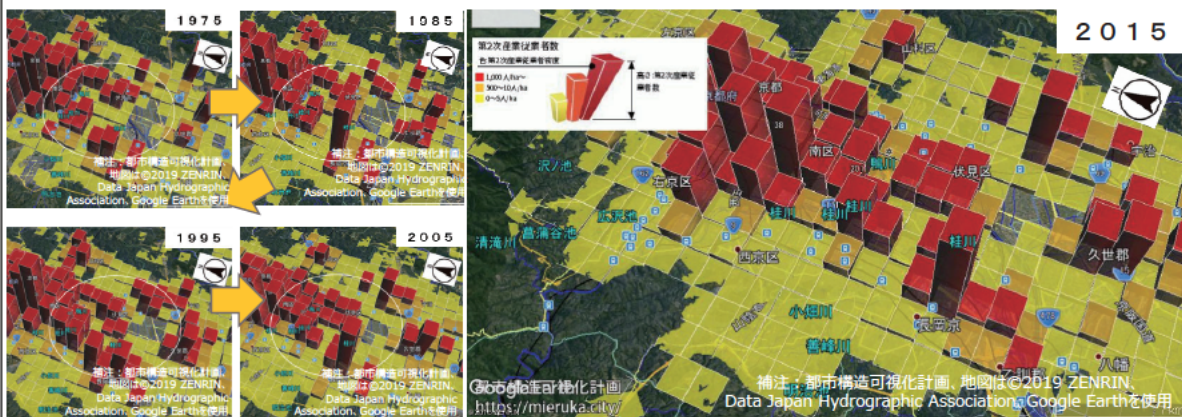
i-都市交流会議2020

3

3. 事例の紹介 (活用)

～都市計画変更案の検討～

→計画地周辺の従業者数密度の変遷を可視化



●可視化することにより...

- ・赤色(従業者密度が高い地区)が拡大
- ・第二次産業の高密度化が進んでいる

→高密度化へのニーズがある地域



i-都市交流会議2020

4

4. 事例の紹介（普及）

～府内市町村との情報共有～

★都市計画基礎調査の府内市町村担当者会議で可視化サイトを紹介



i-都市交流会議2020

3Dマウスで立体的に場所を移動したり、データの経年変化アニメーションなど
実際の動きを見ていただきました

5

5. 事例の紹介（普及）

～府内市町村との情報共有～

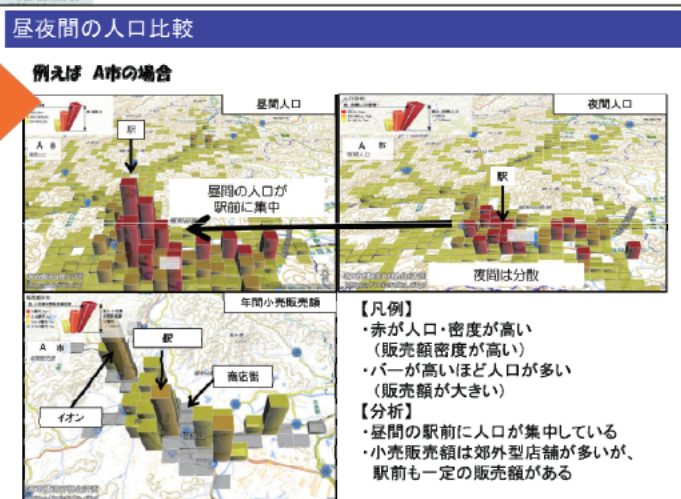


昼夜間の人口比較を例にとり、
データの見方、都市分析への活用
イメージを説明

●可視化することにより...

- ・ 昼間の駅前の人口集中
- ・ 販売額と人口の連動

みえる！



i-都市交流会議2020

補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

6

～今後の展開～

★都市構造可視化を使ってみて

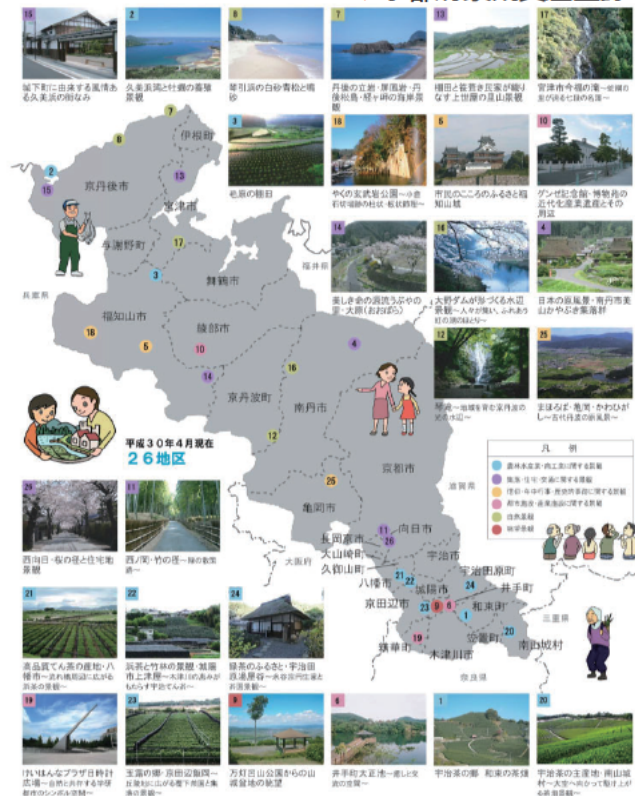
●都市構造可視化のよさ

- ・ 経年変化や地域ごとの差が立体的に表示され、視覚的にデータを把握できる。
- ・ 視覚的にデータを把握できるため、職員間での検討事項や問題点の共有が容易

→多種多様なデータに対して適切な手法を用いることにより
効果的、効率的な都市構造の分析が可能

- 都市構造可視化をはじめ、適切な手法を活用し、EBPMに基づくまちづくりを
- 府内全体で職員の知識・技能の共有を

▼京都府景観資産登録



京都府 建設交通部
都市計画課